

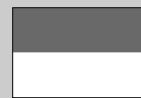
World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol.52

インドネシア共和国



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!

案内役は、国際交流員のアダム・ラビエールさんとジェニファー・ステイントンさんです。

Hi! アダムです。今月はインドネシアのジャワ島にある、シドアルジョ市で起こった泥噴出事故についてお話しします。

2006年5月、ラピンド・ブランタスという名の会社が、インドネシアのジャワ島のスラバヤ市（インドネシアで2番目に大きな都市）の南約20キロメートルにあるシドアルジョ市で、天然ガスの掘削をしていました。ジャワ島の真下の土壌は非常に火山が多く、ガスや溶岩や泥で溢れていることで知られています。その会社は住宅地や村の真ん中にある現場で、地中に閉じこめられたガス鉱床を探していました。そして彼らはとても特異で危険な物を発見しました。それは数千人の人々を家や村から追い出し、通り道にあるあらゆる物を破壊し続けています。掘削の第1段階でその会社は、厚い粘土質の土を1,500メートルの深さまで突き通しました。それから砂、貝、火山性物質を突き通し、ついに硬い岩まで到達しました。掘削の



第2段階でその会社は約2,800メートルの深さまで掘削することを決めましたが、ドリルの回りにある穴を安定させるために重要な鉄管を使用しませんでした。

その会社が**どんどん深く掘削**していくと、熱い水蒸気、水や泥が現場の近くまで噴出し始めました。約2年後の今日も高温泥と水蒸気が、その会社が掘削していた地面から毎日約100,000立方メートル吹き出し続けています。その泥は完全に農場、工場、村や町全体を覆い尽くし、速度を緩める兆しはありません。今年の1月までにその泥は11もの町を埋め尽くしました。インドネシア政府は地中から出てくる高温泥を止めたり、その流れを操作するためにあらゆることを試みましたが、しかし、それらの努力はほんの少しの効果しかありませんでした。

泥がさらに多くの町へ流れ込むのを防ぐためにダムと堤防が建設されましたが、それらのいくつかは破壊され、泥の川がさらに多くの町へ流れ込む原因となり、逃げ遅れた人々は命を落としました。政府が泥の吹き出し口に数千の大きなコンクリートの塊を落としても、効果はありませんでした。今日政府は泥を汲み上げボロング川に流し、それがジャワ海へと流れています。しかしこのことがさらに、泥が川にいる魚や植物を殺しているという問題を引き起こしています。



世界中から来た**科学者や地質学者**はシドアルジョの泥流出について研究し、その泥は数年間地中から流出し続けるだろうという結論を出しました。彼らはまた、ある程度の泥が地中から流出してから地盤が崩壊し、もともと掘削の現場があった所は巨大な噴火口になると考えています。科学者たちはまた、考えられる噴出の原因を研究しました。そして彼らはその原因はラピンド・ブランタス社の掘削の実施に間違いはないと判断しました。そのためその会社は、家や仕事を失った家族、農家や労働者に保証金を支払う責任を負い、すべての泥を掃除するための費用を負担しなければなら



ないでしょう。これには数10億円の費用がかかるでしょう。その会社はそんな資金を持っていないので、最終的にはジャワの人々がその小さな会社の間違いの報いを受けなければならないことになるようです。